

第四十回句会 俳句

【高点句】

- ☆小流れや光を孕み春近し 〈眞澄〉  
☆寒晴や水分石の音分けて 〈明美〉  
☆裸木の透く青空の淡々し 〈明美〉  
☆雪吊の影の穏やか苑の午後 〈明美〉

【各自一句】

- ・池の面の水脈長々と春隣 〈眞澄〉  
・名園の静けさ被る寒鴉 〈一馬〉  
・生姜湯に頬ずりをしてひと休み 〈奈美〉  
・梅早しポッププーンのように咲く 〈撫子〉  
・初日の出後光優しき富士の山 〈童心〉  
・新成人自撮りに割込む顔顔顔 〈静〉  
・ビルの間になす人や福詣 〈青蛙〉  
・欲望の冬芽の赤き先に満つ 〈莫院〉  
・早梅のほがらかなりや紀州庭 〈茂〉

\*以上、30句（3句ずつ10名）より、選句は10名により4句ずつ

\*高点句は、高得点の句より3句（今回は第2位が同点で3句）

\*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による（得点順ではなく、俳句一覧表に偶然記載された順に掲載）